

## 第2期ロジスティクス環境会議 第3回本会議 議事録

I. 日 時：2008年3月11日（火） 14：30～16：20

II. 場 所：東京・千代田区 ホテルニューオータニ 本館地下1階 麗の間

III. 出席者：104名

IV. 議 案：

- 1) 活動報告について
  - (1) 研究会及び委員会について
  - (2) 普及活動及び情報提供活動について
- 2) 第2期活動の総括について
- 3) 2007年度収支決算（案）について
- 4) 第3期活動について

V. 開 会

事務局の徳田より開会が宣された。

VI. 議長挨拶

三村議長より挨拶が述べられ、これまでの活動に対する御礼、及び本日までご発表いただく研究会、各委員会の成果物を積極的にご活用いただきたい旨の要望がなされた。

VII. 経過報告

事務局の徳田より、資料1-1、1-2に基づき、第2期ロジスティクス環境会議の活動の根幹をなしている「循環型社会を実現するロジスティクス・グランドデザイン」及び「ロジスティクス環境宣言」の説明がなされた。続いて、資料1-3、資料1-4に基づき、組織体制及び各委員会の活動経過の報告がなされた。

VIII. 議事の経過

三村議長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

1. 議 事

1) 活動報告について

(1) 研究会及び委員会について

(i) グリーン物流研究会

下村幹事より、資料2-2に基づき、グリーン物流研究会の活動内容、活動報告書の概要等について、説明がなされた。

(ii) CO<sub>2</sub>削減推進委員会

増井委員長より、資料2-3に基づき、CO<sub>2</sub>削減推進委員会の活動の背景等について説明がなされた。続いて、高松副委員長よりモーダルシフトWGの検討の経過、モーダルシフト推進にあたっての問題及び関係機関等への意見・要望の

概要等について説明がなされた後、石崎副委員長より燃費向上WGで作成した「エコドライブ推進ガイド」の内容について説明がなされた。最後に、増井委員長より、省エネ法への意見・要望の内容、今後の検討課題等について説明がなされた。

(iii) グリーンサプライチェーン推進委員会

山本委員長より、資料2-4に基づき、取引条件分科会で検討を進めた「取引条件を考慮した環境負荷低減施策の提案」について説明がなされた。続いて、菅田副委員長より、資料2-5に基づき、源流管理分科会で作成した「グリーンロジスティクスガイド」について説明がなされた。

研究会、各委員会からの報告を受けて、三村議長から、①我々自身も環境問題の加害者であるという認識を持つ必要がある、②研究会、各委員会で検討された取組により、環境負荷の大幅な削減が可能であることが分かったことは意義深い、③他社の取組を参考にするとともに、自社単独ではできない取組を他社との連携を図ることで、環境負荷の大幅な削減につながる可能性がある、④エネルギーコストが上昇している中で、環境対応は、自社のコストダウンにもつながる活動であり、その点からも推進すべきである、と感想が述べられた。

最後に、研究会、各委員会の活動報告については、全会一致で承認された。

(2) 普及活動及び情報提供活動について

事務局の徳田より、資料3-1、3-2に基づき、普及活動及び情報提供活動について説明がなされ、全会一致で承認された。

2) 第2期活動の総括について

杉山企画運営委員長より、資料4-2に基づき、第2期活動の実績、及び活動を終えての課題について説明がなされた後、「循環型社会を実現するロジスティクスの構築」というグランドデザインの達成に向けて、『ロジスティクス環境宣言』の実践に必要なツールの整備等を中心に、様々な活動を展開した。第3期については、第1、2期の成果の普及等により、環境負荷低減活動に取り組む企業を増やす活動を推進したい」を第2期活動の総括とする旨の説明がなされ、全会一致で承認された。

3) 2007年度収支決算(案)について

事務局の徳田より、資料5に基づき、2007年度収支決算(案)について説明がなされ、全会一致で承認された。

4) 第3期活動について

事務局の徳田より、資料6に基づき、第3期活動の概要について説明がなされた。

## IX. 閉会

三村議長より、各メンバーに対する2年間の活動の御礼、及び循環型社会を実現するロジスティクスの構築に向けた活動の推進に向け、第3期活動に継続参加いただきたい旨の説明がなされた後、閉会を宣した。

X. 懇親会

会議終了後、引き続き「舞の間」で懇親会が開催された。

以 上